

株式会社テイツー (7610)
2005年2月期 第1四半期
決算説明会

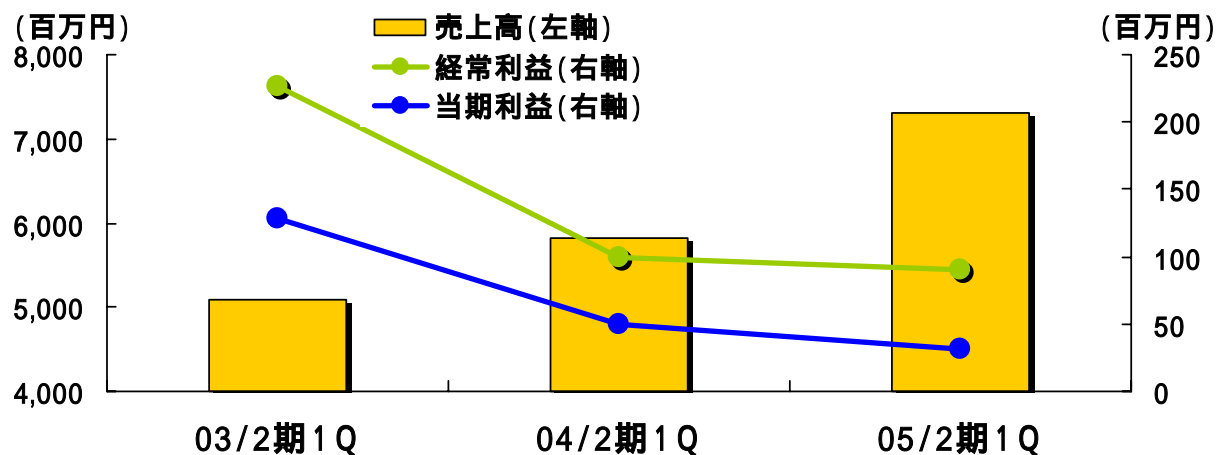


TAY TWO

2005年2月期 第1四半期
決算説明



2005年2月期 第1四半期サマリー



	2003年2月期 第1四半期	2004年2月期 第1四半期	2005年2月期 第1四半期
売上高	5,092	5,825	7,316
経常利益	227	99	90
当期利益	128	50	31

- ・既存店売上高の拡大、新規出店効果等により、売上高は前年同期比25.6%増
- ・直営店6店舗の出店コスト等により、利益面では減益に。



2005年2月期 第1四半期のポイント

1. 売上高、前年同期比25.6%増と大幅増収

- 既存店売上高が好調に推移 既存店増収率4.0%
- 新規出店店舗、03年6月に子会社化したブック・スクウェア店舗の売上高が寄与
- EC事業の業績拡大

2. 積極的な新規出店

- 直営店6店舗、業務提携・FC店7店舗を出店
- 初の都心型大型複合店AKIBA PLACE店を出店
- アイ・カフェFC第1号店の蓮田店(埼玉県)を出店

3. 先行投資コストの発生により、利益面では減益に

- 直営店6店舗(古本市場4、アイ・カフェ2)の出店コストの発生
前第1四半期の直営店出店は3店舗(古本市場2、アイ・カフェ1)
- AKIBA PLACE店は色々な意味で当社にとってチャレンジングな店舗であり、販売促進費など各種コストの発生。



2005年2月期 第1四半期 損益計算書

【連結】

	2004年2月期 第1四半期 (03/3~5)		2005年2月期 第1四半期 (03/3~5)		前期比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	5,825	100.0%	7,316	100.0%	25.6%
古本市場事業	5,757	98.8%	7,210	98.6%	25.2%
EC事業	68	1.2%	105	1.4%	53.7%
売上原価	4,036	69.3%	5,236	71.6%	24.1%
売上総利益	1,789	30.7%	2,079	28.4%	16.2%
販売費一般管理費	1,689	29.0%	1,989	27.2%	17.8%
営業利益	99	1.7%	90	1.2%	9.1%
経常利益	99	1.7%	90	1.2%	9.1%
当期純利益	50	0.9%	31	0.4%	36.4%

アイ・カフェ事業の拡大に伴い、売上原価率が上昇しております。

直営店6店舗の出店コストなどに伴い、利益面では減益に

【単体】

売上高	5,761	100.0%	6,767	100.0%	17.5%
営業利益	113	2.0%	108	1.6%	4.4%
経常利益	114	2.0%	103	1.5%	9.6%
当期純利益	50	1.0%	51	0.8%	2.0%



2005年2月期 第1四半期 予実対比

【連結】

	予 想		実 績		達成率
売上高	7,400	100.0%	7,316	100.0%	98.9%
営業利益	110	1.5%	90	1.2%	81.8%
経常利益	120	1.6%	90	1.2%	75.0%
当期純利益	50	0.7%	31	0.4%	62.0%

【単体及びカンパニー別】

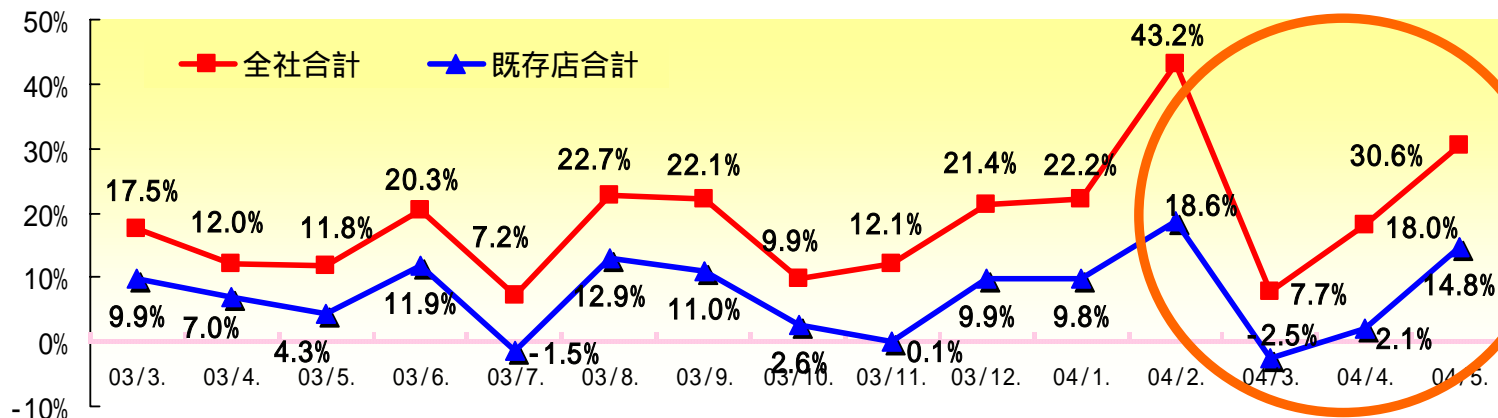
	予 想	実 績	
単体売上高	6,800	6,767	99.5%
古本市場 カンパニー	6,615	6,626	100.2%
アイ・カフェ カンパニー	130	89	68.5%
事業開発 カンパニー	55	50	90.9%
サービス・カンパニー	(330)	(310)	-
単体経常利益	130	103	79.2%
古本市場 カンパニー	190	183	96.3%
アイ・カフェ カンパニー	65	105	72.4%
事業開発 カンパニー	5	13	61.9%
サービス・カンパニー	10	38	380%

4月月初に出店を計画していたアイ・カフェ直営店2店舗の出店が、それぞれ月中、月末にずれ込んだ事などによる影響。



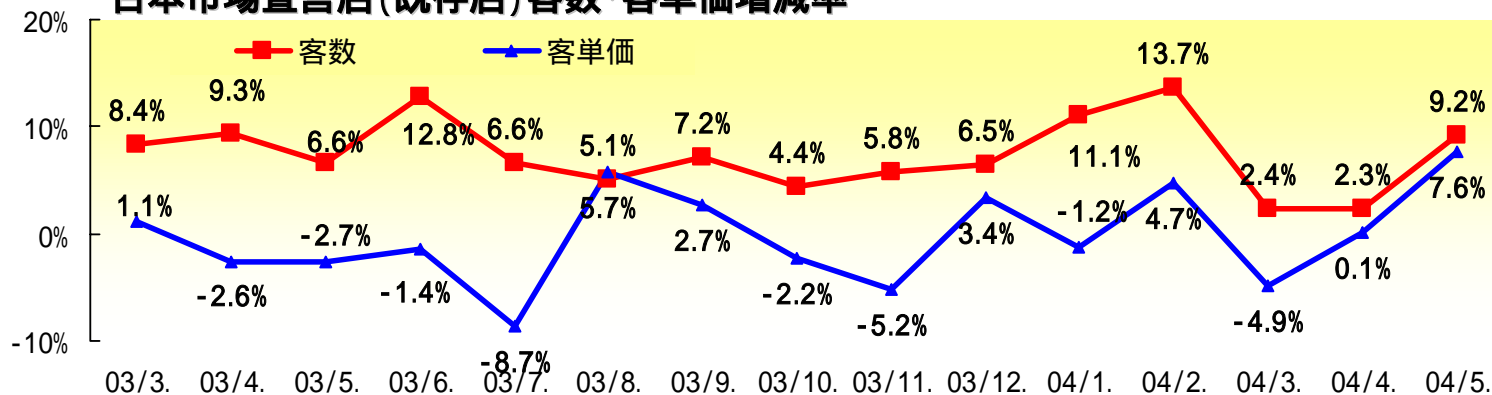
古本市場直営店好調 - 1 - < 直営店月次増減率推移 >

全社 / 既存店売上高増減率



当第1四半期の既存店増収率 + 4.0% と好調に推移

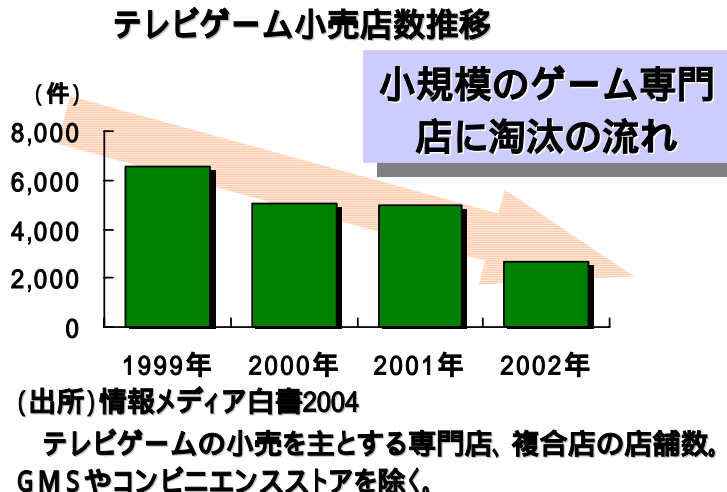
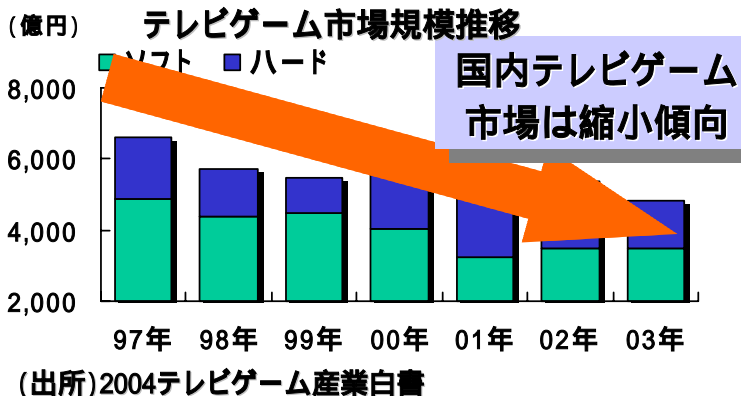
古本市場直営店 (既存店) 客数・客単価増減率



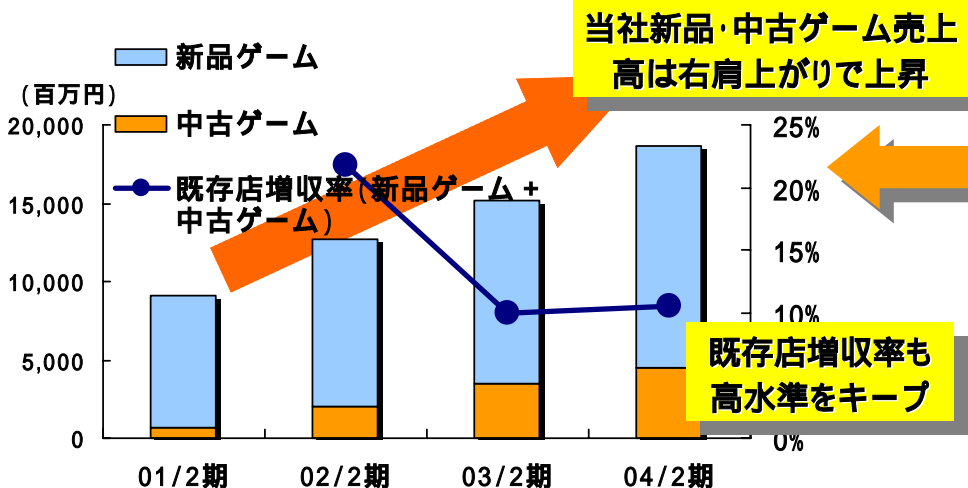


古本市場直営店好調 - 2 -

1. テレビゲームの市場環境



2. 当社新品・中古ゲーム販売状況



第3次CRMシステムの活用による価格、在庫調整力と需要予測の向上

ゲーム市場における当社シェアの拡大へ



アイ・カフェ事業の拡大 - 1 -

1. アイ・カフェ出店拡大

アイ・カフェ店舗数推移

4/15 AKIBA PLACE店(東京都)

4/29 蓮田店(埼玉県)

4/30 入間店(埼玉県)

	04/2期末	05/2期1Q末
直営店	5	7
FC店	0	1
計	5	8

(1) アイ・カフェAKIBA PLACE店オープン

AKIBA PLACE店の出店により、「アイ・カフェ」のブランド価値向上
山の手線内に大型店を出店することで、アイ・カフェの全国的知名度向上
+

「古本市場」「アイ・カフェ」複合店の出店による相乗効果
店舗の大型化、複合型出店による顧客価値の創造



AKIBA PLACE店外観
(東京都千代田区)

(2) FC店1号店を出店

アイカフェ事業として初めてのFC店舗を埼玉県蓮田市に出店

現在もFC加盟の引合いは非常に多く、FC店の出店を加速



アイ・カフェ 蓮田店



アイ・カフェ事業の拡大 - 2 -

2. アイ・カフェの出店モデル



AKIBA PLACE店
(都市型、ビルイン)



倉敷笹沖店
(ロードサイド)

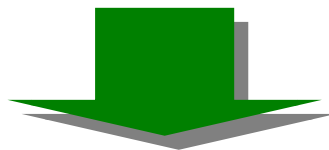


八潮店
(ロードサイド、古本市場併設)

立地、規模、出店地域など
様々な形態を模索している
も、おおむね順調に推移

3. アイ・カフェ出店加速のための課題

- 店舗運営システムの強化 対策を検討中
- 投資コストの削減 アイ・カフェとしてのクオリティを維持しつつ如何にしてコストを削減するか？



品質を維持しつつコスト
削減が可能な供給先を
開拓中

アイ・カフェの本格展開に向けた足固めが整いつつある



連結子会社ユーブックの黒字化定着

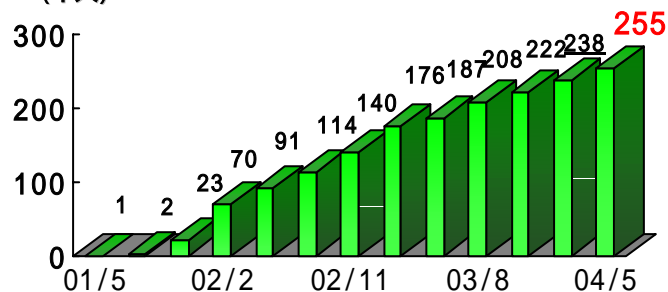
ユーブック業績推移

(百万円)

	04年2月期		05年2月期
	上半期	下半期	第1Q
売上高	143	186	117
経常利益	30	0	7

ユーブック会員数推移

(千人)



新物流システムによる古本在庫の有効活用

古本の単品管理システム本格稼働により、販売機会ロスを低減

ユーブックにおいても売上増に貢献

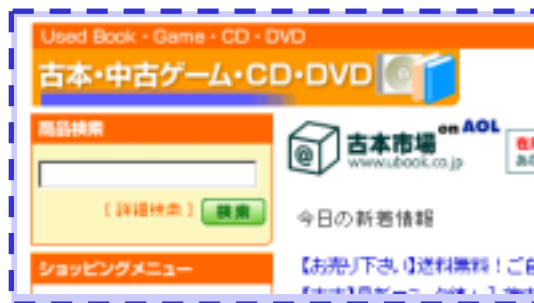
アライアンスの強化

ポータル・サイト、ISPの運営
会社と提携。

売上増に貢献



の知名度アップ

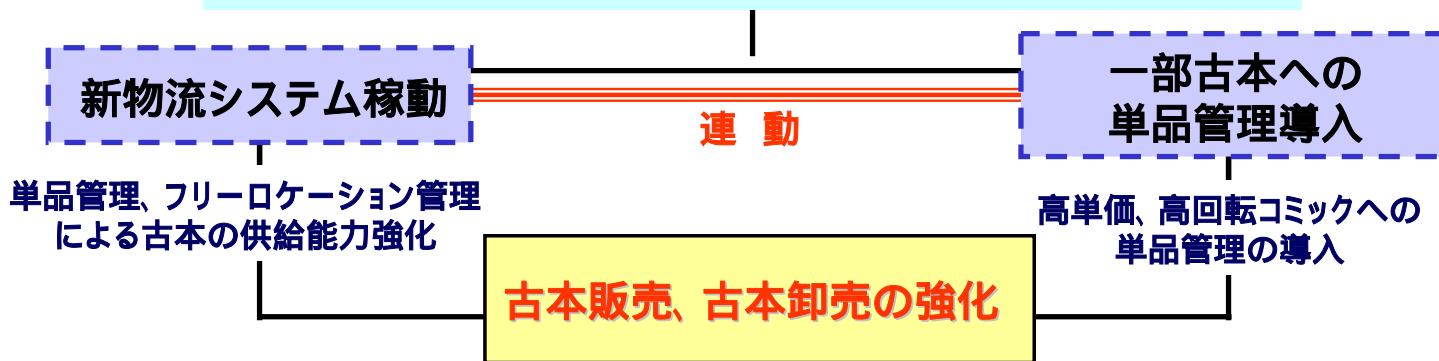


2004年6月より、「AOL Shopping」で、古本、ゲーム、CD、DVDの販売・買取サービス  を開始



古本販売の革新 - 卸売システム稼働 -

古本市場事業の柱であり収益性が高い「古本」販売において
販売量の拡大と販売在庫の有効活用による収益性を追求

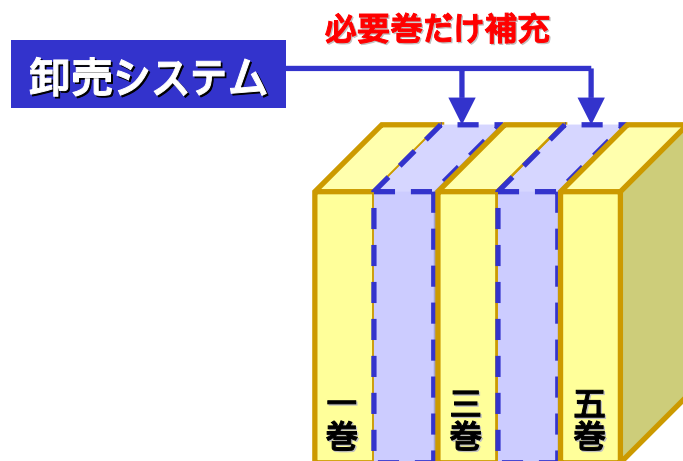


卸売システム稼働

古本市場各店舗(直営店・FC店)に導入

コミック等のシリーズ物で必要な「巻」だけ
補充したいニーズに対応

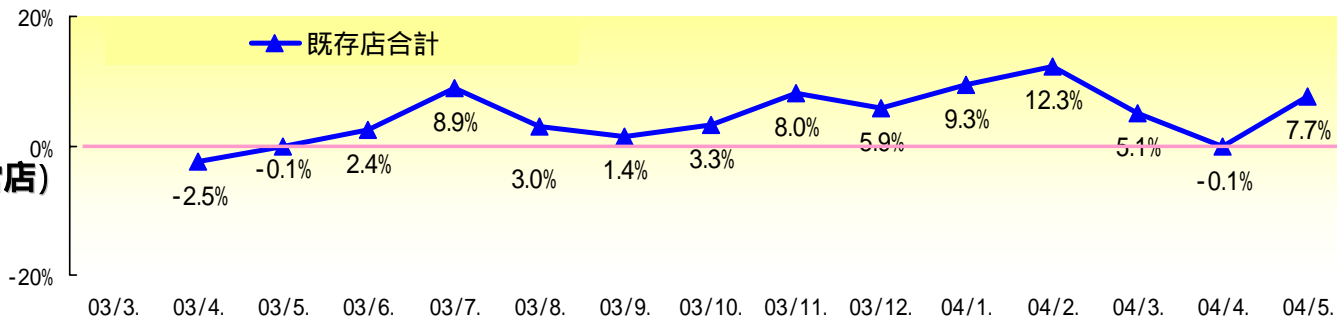
- (1) 新物流システムの単品管理を最大限に活用
- (2) 高い粗利率を実現



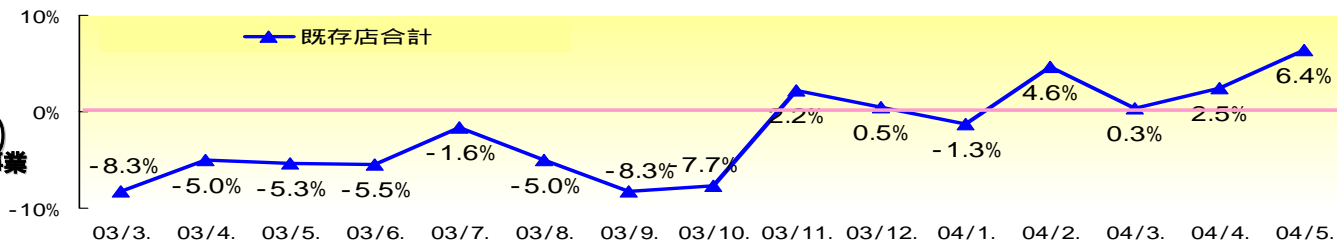


古本市場直営店好調 < 同業他社既存店増減率推移 >

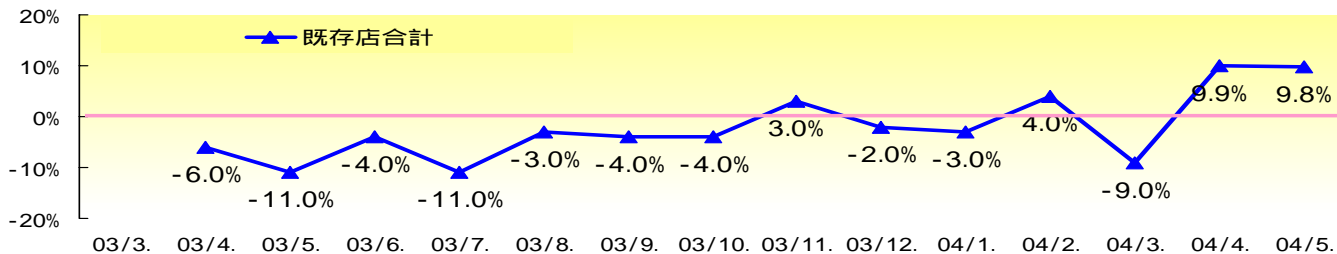
B 社
(古本事業直営店)



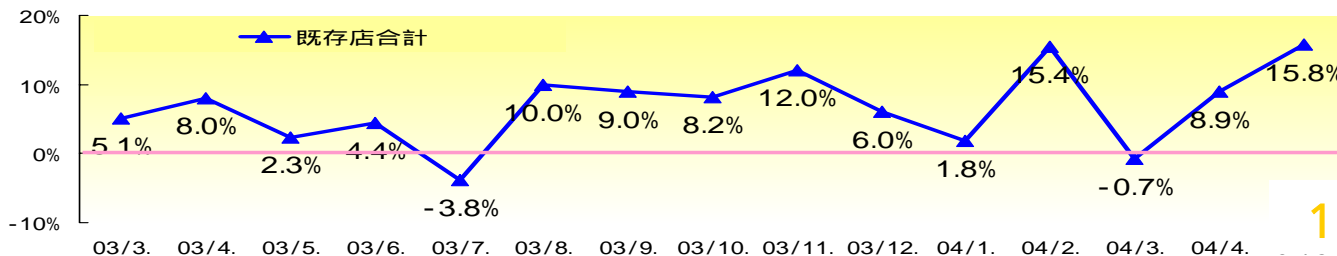
F 社
(リサイクル事業)
*11月以前は古本事業



C 社



G 社

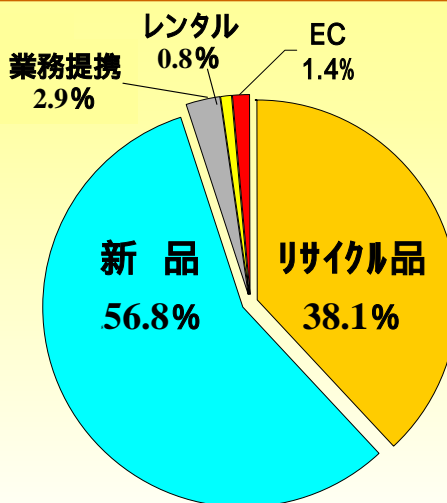




品目別売上高・売上総利益【連結】

売上高、構成比

	百万円	
新品内訳	04/2期1Q	05/2期1Q
新刊書籍	-	217
新品ゲーム	2,822	3,303
新品CD	146	291
新品ビデオ	236	312
その他	19	31
合計	3,225	4,156
業務提携他	49	209
レンタル	31	56
EC事業	68	105

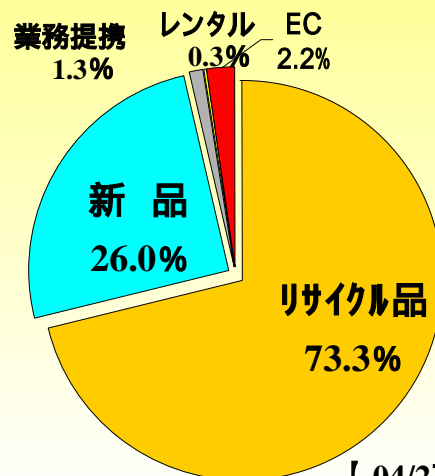


	百万円	
リサイクル内訳	04/2期1Q	05/2期1Q
古本	939	1,059
中古ゲーム	1,113	1,259
中古CD	220	262
中古ビデオ	176	206
合計	2,449	2,787

【05/2期 1Q 構成比】

売上総利益、構成比

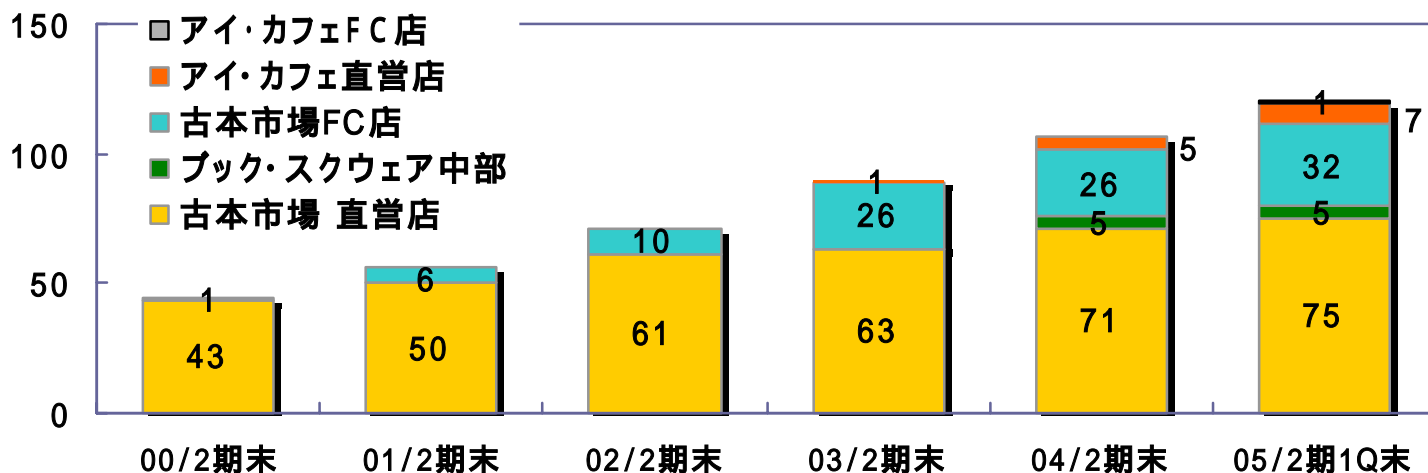
セグメント別	04/2期1Q	05/2期1Q
リサイクル	1,321	1,524
新品	390	540
業務提携他	-3	-26
レンタル	47	-5
EC事業	33	45
合計	1,789	2,079



【04/2期 1Q 構成比】



出店状況



	04 / 2期	05 / 2期 第1四半期				増減数	年間出店計画
	期末	出店	退店	形態変更	5月末		
古本市場直営店	71	4	0	0	75	4	6
ブック・スクウェア中部	5	0	0	0	5	0	0
古本市場FC店	26	6	0	0	32	6	37
アイ・カフェ直営店	5	2	0	0	7	2	10
アイ・カフェFC店	0	1	0	0	1	1	7
合計	107	13	0	0	120	13	62

株式会社アイ・カフェが連結子会社になったことに伴い、アイ・カフェ直営店は株式会社アイ・カフェ直営店を含めて表示しております。



2005年2月期 第1四半期 貸借対照表【連結】

	2004年2月期末		2005年2月期 第1四半期末		増減率
流動資産	4,992	52.5%	5,394	53.4%	8.1%
現金・預金	1,152	12.1%	1,204	11.9%	4.5%
たな卸資産	3,191	33.6%	3,569	35.3%	11.8%
その他	648	6.8%	620	6.1%	4.3%
固定資産	4,512	47.5%	4,864	46.6%	7.8%
有形固定資産	2,092	22.0%	2,271	21.2%	8.6%
無形固定資産	386	4.1%	345	0.1%	10.6%
投資その他	2,033	21.4%	2,247	22.3%	10.5%
総資産	7,148	100.0%	10,259	100.0%	43.5%
流動負債	3,895	41.0%	4,267	42.3%	9.6%
買掛金	1,445	15.2%	1,183	11.7%	18.1%
短期借入金	1,322	13.9%	2,234	22.7%	75.8%
その他	1,127	11.9%	759	7.4%	32.6%
固定負債	1,876	19.7%	2,248	22.3%	19.8%
長期借入金	1,677	17.7%	2,006	19.9%	19.6%
その他	199	2.1%	242	2.4%	21.6%
株主資本	3,567	37.5%	3,572	35.4%	0.1%

店舗数の拡大による在庫増

古本市場、アイ・カフェの直営店出店に伴う設備投資

(参考)

●05/2期 第1四半期
単体設備投資額

462百万円

(内訳)

・新規出店及びS & B 410百万円

・ソフトウェアの開発 26百万円

●05/2期 第1四半期
単体減価償却費

99百万円



財務諸表 連結キャッシュ・フロー計算書

	2004年2月期 第1四半期 2003/3～2003/5	2005年2月期 第1四半期 2004/3～2004/5
営業キャッシュ・フロー	322	768
投資キャッシュ・フロー	249	496
財務キャッシュ・フロー	688	1,315
現金及び現金同等物の増減額	74	51
現金及び現金同等物	605	1,120

営業キャッシュフロー

- たな卸資産、法人税等支払額の増加

投資キャッシュフロー

- 新規出店に伴う、有形固定資産取得による支出の増加

財務キャッシュフロー

- 出店費用として長期借入金の増加

TAY TWO

2005年2月期 業績見通し



2005年2月業績見通し - 1 -

■連結通期予想

(百万円)

	2004年2月期 2003/3 ~ 2004/2		2005年2月期 2004/3 ~ 2005/2		増減率	05年2月期中間期 2004/3 ~ 2004/8	
売上高	28,055	100%	34,800	100%	↑ 24.0%	15,600	100%
営業利益	845	3.0%	1,050	3.0%	↑ 24.3%	250	1.6%
経常利益	823	2.9%	1,060	3.0%	↑ 28.7%	250	1.6%
当期純利益	430	1.5%	610	1.8%	↑ 41.6%	140	0.9%

EPS	8,648円	12,355円
BPS	72,270円	82,013円
ROA	9.9%	10.2%
ROE	12.7%	16.0%



■単体通期予想

	2004年2月期 2003/3 ~ 2004/2		2005年2月期 2004/3 ~ 2005/2		増減率
売上高	26,824	100%	32,200	100%	↑ 20.0%
営業利益	919	3.4%	1,090	3.4%	↑ 18.5%
経常利益	910	3.4%	1,070	3.3%	↑ 17.6%
当期純利益	506	1.9%	590	1.8%	↑ 16.5%

(百万円)

05年2月期中間期 2004/3 ~ 2004/8	
14,400	100%
300	3.4%
280	3.3%
150	1.8%

EPS	10,169円	11,950円
BPS	76,624円	86,368円
ROA	11.4%	11.1%
ROE	14.2%	14.7%



2005年2月カンパニー別業績見通し - 1 -

■カンパニー別通期予想

(百万円)

	古本市場 カンパニー	アイ・カフェ カンパニー	事業開発 カンパニー	サービス カンパニー
売上高	30,460	1,235	505	1,300
経常利益	1,050	195	180	35

*カンパニー間の売上、費用を含んでいるため、上記の合計は全社(単体)の売上高見通しとは一致しません。


*サービスカンパニーの売上高は他カンパニーに対するもので、当社管理会計基準によります。

TAY TWO

參考資料



会社概要

社名	株式会社テイツー (英訳名 TAY TWO CO.,LTD.)
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日: JASDAQ
住所	岡山県岡山市今村650 - 111
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及ビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト  古本市場 www.subook.co.jp の運営(連結子会社:(株)ユーブック)
従業員数	【単体】 312人
資本金	1,084百万円
発行済株式数	52,870株:単元株制度なし
株主数	2,196名



Mission

経営理念

「満足を創る」

スローガン

Customer Value Creation ~ 顧客価値の創造 ~

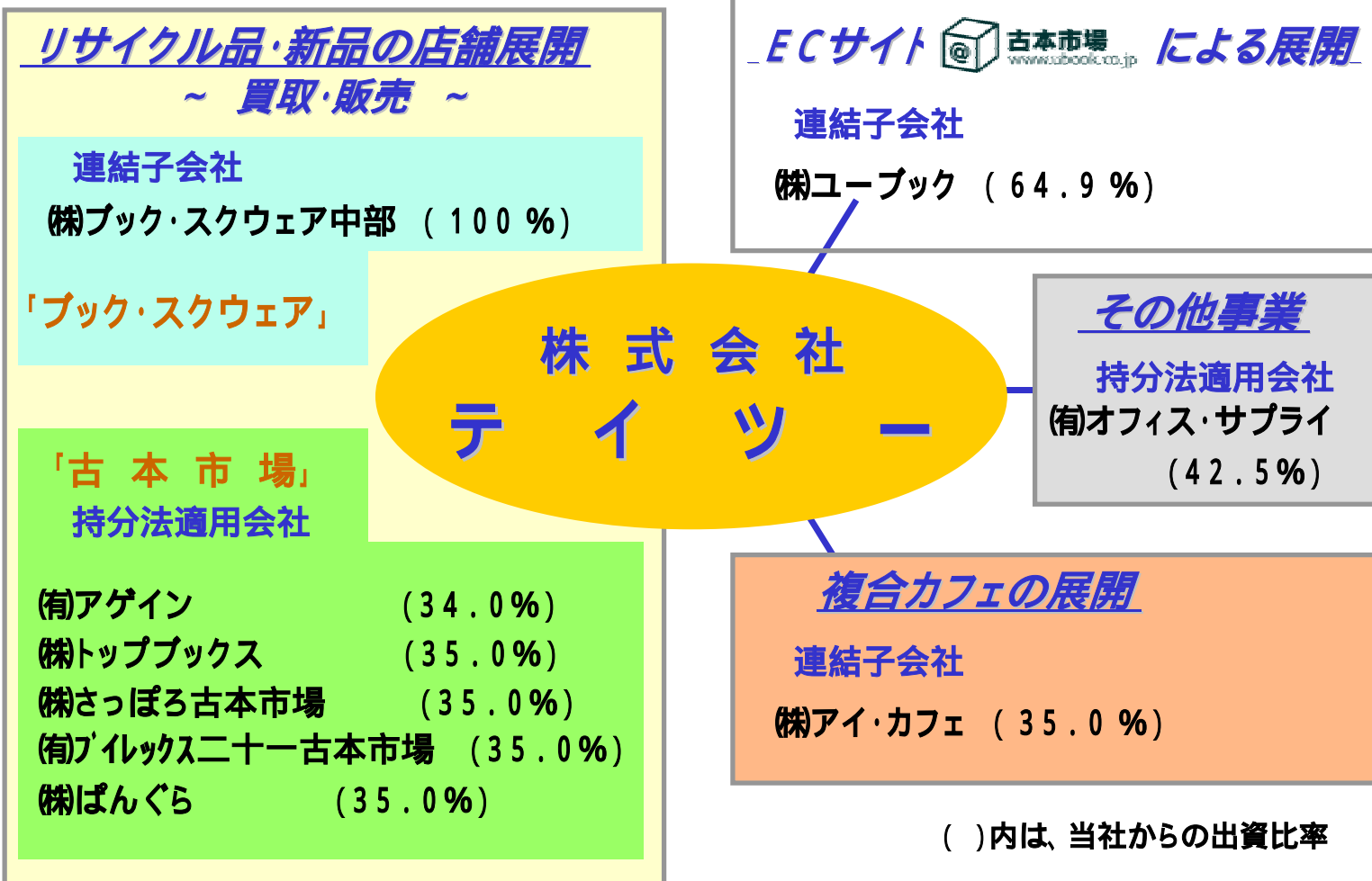
行動指針

ティツターの七感

- ・変化を観る「目」をもつ
- ・お客様の声を聴く「耳」をもつ
- ・親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- ・自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- ・常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- ・お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- ・お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ



ティーツーグループの状況



()内は、当社からの出資比率

ティーツー・グループ・スローガン

Customer Value Creation

～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2005年2月期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2004年5月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口： 経営企画部 片山 靖浩・中村 文彦・冨矢 武志

TEL03-5408-5542 FAX03-3432-2455

E-mail: ir@tay2.co.jp



URL: <http://www.tay2.co.jp>